

# 神栖市住民投票広報

「(仮称) 防災アリーナ整備事業」に係る規模の見直し賛否を問う

## 住民投票のお知らせ

**投票日 10月1日(日) 時間 午前7時～午後6時**

この住民投票は、「(仮称) 防災アリーナ整備事業」の規模の見直しについて、市民の皆さまの意思を確認するものです。

規模の見直しに **反対** される方は **×** を投票してください。  
**賛成** される方は **○** ×や○の他は、何も書かないでください。

### 投票できる方

日本国籍を有し、平成11年10月2日以前に生まれた方で、平成29年6月20日以前に神栖市の住民基本台帳に登録され、引き続き3カ月以上住所がある方です。※不在者投票もできます。

### 入場整理券

告示日(9月21日)までに世帯ごとに送付します。また、期日前投票をされる方は、あらかじめ裏面の宣誓書にご記入いただくと、受付がスムーズにできます。入場整理券が届かない方はお問い合わせください。

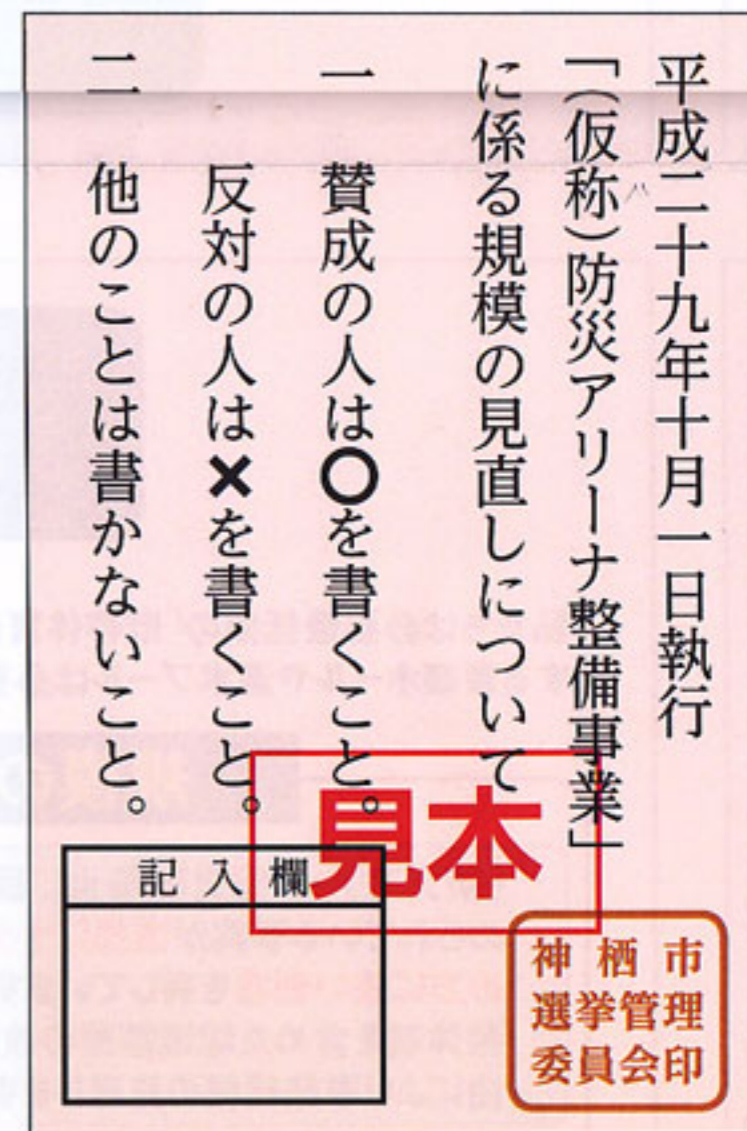
### 期日前投票

投票日に、仕事や旅行などで投票できない方は、ご利用ください。  
 期間=9月22日(金)～30日(土) 午前8時30分～午後8時  
 場所=市役所、波崎総合支所・防災センター

### 投票所

次の4カ所が、茨城県知事選挙から変更になります。  
 ※入場整理券に投票所の地図が記載されていますので、あらかじめご確認ください。

投票所	変更前	変更後
第2投票区	軽野東小学校体育館	奥野谷浜農村集落センター
第11投票区	平泉コミュニティセンター	息栖小学校体育館
第26投票区	矢田部公民館	はさき福祉センター
第27投票区	土合小学校体育館	植松幼稚園



### 開票

10月1日(日)午後7時30分から、市民体育館で行ないます。

### 投票運動について

投票運動は自由に行うことができます。条例の規定により、市民の自由な意思が拘束され、又は不当に干渉されるものであってはなりません。

← 裏面に「反対」又は「賛成」の意見を記載しています。

「(仮称)防災アリーナ整備事業」に係る規模の見直しに対する「反対」又は「賛成」の意見につきましては、次のとおりですので、投票の参考にしてください。

規模の見直しに**反対**の意見 (神栖市議会議員 五十嵐清美)

**反対**

## 私たちは防災アリーナの**規模の見直しに** **×** **です!**

### 約38億円ものお金が無駄になります!

投票用紙には×を書きましょう

(仮称)防災アリーナ整備事業に係る規模の見直しについて

×

**見直しはここが問題!**

- すでに工事が始まっています
- 見直しは不可能で、**事業中止になります。**
- 市の損害は合わせて約**38億円**にのぼります。国からの補助金約23億円(見込み)は返さなければなりません。
- 地域医療にかけられるお金は生まれません

なぜ今ごろ見直し?

計画通りに進めて魅力ある神栖市を作ろう!

**計画どおり進めよう!**

- 時間をかけて市民がつくった計画です
- 防災アリーナが完成しないと、防災公園なのに避難所ができなくなります。

**土研跡地有効利用は神栖市民の夢です**

防災アリーナは災害時に10,000人の避難所になる安全・安心のための施設ですが、普段の活用がとても重要です。現在の計画は、私たちの日常の健康づくりのための施設としてはもちろん、スポーツ大会や音楽演奏会の開催や各種イベントなどの誘致により、人が集まる魅力的な施設計画になっています。

規模の見直しに**賛成**の意見 (かみす市民の会 代表 伯耆進)

## 巨大施設は本当に必要ですか?

### 私たちは、『規模の見直し』に賛成します。

私たちは必要最低限の「既存体育館の建替え」は反対していません。既存施設と重複する音楽ホールや温水プールは必要ないと思っています。

#### 規模の見直し賛成意見

「防災アリーナ整備事業」は、巨額な予算投資の大半を市費の支出によって進められている事実が市民に十分周知されていないばかりか、行政の一方的な進め方に強い懸念を有しています。神栖市の喫緊の課題は、県内最悪の救急医療体制を含めた地域医療の改善であり、「防災アリーナ整備事業」は、以下の理由により事業規模の見直しをすべきと考えます。

**【理由その1】**

「防災アリーナ整備事業」は、市民体育館の建替えという当初目的からは程遠い**娯楽施設のような巨大な建物に変貌してしまっています。**市費の支出においても、今後どのくらい予算がかかるのか周知されておらず、市民からは**当初の計画から増大し続ける巨額な費用に懸念する意見が出ています。**

**【理由その2】**

神栖市の**最優先課題が市民の命・財産を守る安心・安全の事業である**とすれば、病院の再編統合について、将来の地域医療がどのように改善されるのか未だに市民に伝わっていません。「防災アリーナ整備事業」の**規模見直しを行い、優先的に地域医療の充実の為に予算投資をするべき**と考えます。

**【理由その3】**

アリーナ基本計画は、平常時はスポーツ・災害時は防災となっていますが、災害時の想定利用は避難所及び救援・救護の場所確保が主用途となっています。市内には、地震や津波の**緊急避難場所として既存の施設が指定**されています。私たちは、これら**既存施設の防災機能を充実させる事**が市民の安心・安全確保のためには合理的だと考えます。

#### このまま進めて良いのですか?

「防災アリーナ整備事業」は、計画が進むうち総額がどんどん増え、国からの補助金は減り**市の負担は膨れあがっています。**

本体工事費 設計管理費 121億円	+	運営管理費 維持費 50億円	=	契約額(税込) 171億円
				市負担金(補助金差引)
				国庫補助金

市民が負担することを**忘れないで! 国からの補助金では有りません。**

神栖市民95,000人で単純計算すると新生児から高齢者まで市民1人が負担するお金は、 $17,100,000,000円 \div 95,000人 = 180,000円$ になります。  
例えば1世帯4人家族の場合  $180,000円 \times 4人 = 720,000円$ となります。

市内には既存の公共施設等があるなか、新たに「憩い、賑わい」の場所を造るのに、**こんなに大きなお金を使うのですか?**

**優先順位が違う!**

神栖市の最優先課題は、市民の命・財産を守ることで、いま深刻な問題は救急医療の崩壊(鹿島労災病院の撤退など)です。行政として、**地域医療・救急医療を改善してゆくこと**が喫緊の課題である筈!

この広報は、「反対」又は「賛成」のご意見に基づき作成し、双方の了解のもと文章を配置したものです。